

平成28年度第1回市民公募委員サロンについて（案）

市民公募委員サロンの開催趣旨

本市では、市民の市政への参加意欲を高めるとともに、附属機関等の会議に広く市民の意見が反映されるよう、各附属機関等において、市民公募委員の選任に努めており、多くの附属機関等で市民公募委員が在籍している。

一方、市民公募委員の中には、自分の立ち位置が分かりにくかったり、積極的に発言することにためらいを感じる方もおられ、市民公募委員の知識や経験が十分に会議に活かされていない場合もある。

そのため、市民公募委員がその意義などを学ぶとともに、様々な附属機関等の市民公募委員が交流し、意見交換を行うことにより、会議において積極的に発言する機会が増え、もって、知識や経験が十分に活かされるとともに、市政への参加意欲が一層高まることを目的に、市民公募委員サロンを開催する。

また、市民参加推進フォーラムは、附属機関等への公募委員の登用を積極的に進めるために京都市に意見や提言を行う立場であるため、市民参加推進フォーラム委員が、他の附属機関等の公募委員の実情を把握することも目的とする。

28年度は市民公募委員サロンを2回開催する。

1回目は9月に開催し、以後の会議に向けて、市民公募委員の意義などを学ぶとともに、他の附属機関等の状況を知ることを主な目的とする。

2回目は、年度末に開催し、1年間を振り返ることで、次年度以降の委員としての活動や、その他の市政参加の活動につながる学びや気づきを得ることを主な目的とする。

平成28年度 第1回市民公募委員サロンについて

1 日 時

平成28年9月13日（火）19時～21時

2 会 場

職員会館 かもがわ

3 対 象 者

全局区の附属機関等の公募委員の方（65附属機関等で108人）全局区

※ 附属機関等（市民公募委員がいない附属機関等を含む。）を運営する
事務局職員にも参加を呼び掛ける。

4 参 加 費

無料

5 内 容

（第1部）参加型パネルディスカッション「市民公募委員ってどんな存在？」

～座長、事務局、市民公募委員…それぞれの立場の本音を聴いてみよう！～

45分

●参加者全員が一つの輪になり、司会やゲストが、参加者も巻き込みながらテーマについて語る。

【司会】

樋口幸則氏（市民参加推進フォーラム 市民公募委員）

【ゲスト】

永橋爲介氏（市民参加推進フォーラム 前座長，立命館大学教授）

石井雄一郎氏（地域コミュニティ活性化推進審議会 市民公募委員
元市民参加推進フォーラム 市民公募委員）

西村睦氏（京都駅東南部エリア活性化方針策定委員会 市民公募委員）
元市民参加推進フォーラム 市民公募委員）

大石純子氏（京都市職員「“京都をつなぐ無形文化遺産”『京の菓子文化』
（仮称）審査会」の事務局）

座談会のねらい

参加者に以下のことに気づいてもらう。

- ・実は、専門委員でも最初は戸惑っていること。市民公募委員も最初は戸惑うのは当然であること。
- ・前年度からの継続審議事項も多くあり、慣れるのに時間を要するかもしれないが、それは市民公募委員も専門委員も同じであること。
- ・事務局や座長、副座長は、それを踏まえて運営を工夫する必要があること。
- ・市民公募委員は、自らの動機を大事にしつつ、いろいろなやりとりを積極的に楽しむといったスタンスでよいこと。
- ・「意見を出す」ことが難しければ「理解のための質問」をどんどん投げかけてよいこと。特に「いいところ探しの質問」は、委員や事務局の良いところや個性を出し合いながら議論を進めていく雰囲気づくりに寄与すること

など

<フォーラム委員の役割>

座談会は、他の参加者にも質問を投げかけたり、また、質問を受け付けたりするため、フォーラム委員の皆さんは、他の参加者が発言をしやすい場所になるように、積極的に発言をしていただく。

(第2部) グループ交流「市民公募委員になってみて」

40分

●グループ構成

1つのグループ4～5名程度（フォーラム委員2名、他の附属機関の市民公募委員2名、市職員）

フォーラム委員2名は就任2年目以降の人と1年目の人がペアになっていただく。

●進行

- ・場にいる全員が事前に記入した自己紹介シートを紹介しあう。

自己紹介シートイメージ

①で一巡
↓
②で一巡
↓
③で一巡

①氏名 附属機関等名 就任（ ）年目	③委員になって みての感想 (いいことも悪いことも)
②委員となった 動機と経緯	④

- ・参加者の戸惑いや疑問について、解決策を出す必要はなく、どうしてそう思うのかをお互い理解して把握していく。
- ・ホワイトボードに書き出し、共有していく。
- ・後半の5分で、各自自分のシートの④に、自分自身に対して今後自らの所属する附属機関等でどのように活動・発言していこうと考えたか、抱負やアイデアなどを書き込んでもらう。

<フォーラム委員の役割>

- ・各グループの中で、ファシリテーターとなって議事進行をするとともに、「聞き役、受けとめ役」となり参加者に質問をしつつ発言を促していただく。
- ・ホワイトボードへの書き出しをしていただく。

(第3部) 全体交流

25分

- 再び一つの輪になり、第2部で話したり感じたことを共有する。

【司会】

樋口幸則氏（市民参加推進フォーラム 市民公募委員）

6 募集・申込

(1) 募集方法

各局区等の附属機関等を運営する所管課に対して、市民公募委員サロンの開催案内通知を依頼して事務局で参加者を集約する

(2) 申込方法

ファックス、電子メール、専用フォーム、郵送または電話により、事務局あてに9月11日（日）までに申し込んでもらう。

（要約筆記、手話通訳、託児の申込は9月6日（火）まで）

7 主催

京都市市民参加推進フォーラム，京都市